民主フォーラム
県政報告vol.32

「次に備えた医療体制構築」と「協力金の早期交付体制への見直し」を要求

神奈川県議会議員　石川ひろのり

3月12日から始まった予算委員会で、今後の新型コロナ感染症対策における医療体制と県経済の対策について質疑を行いました。

次に備えた医療体制構築を要求

県はこれまで補正予算を幾度も編成し、感染症病床確保支援に約133億円、軽度・無症状患者療養施設に約95億円などを計上し医療体制整備を講じてきました。

私は目先の感染者数に一喜一憂するのではなく、この一年の蓄積や経験を経た中長期的な視点で感染症対策を進めるべきと提案し、陽性者数ではなく陽性率への着目、県内で借上げた無症状・軽症者用施設の検証、市町村域を超えたワクチン接種のための医療従事者の連携体制構築を求めました。

協力金の交付体制見直しを要求

県は感染対策防止のために飲食店に時短を要請し協力を頂いています。協力金の申請業務等は、当初から委託事業となっており費用は累計で20億円超です。しかし、業務委託内容は一日300件など審査数に目標数値を設定。前回の委員会でも要求したものの、まだ受付当初の申請集中期に対応できる体制になっておらず交付に時間を要しているため、改めて早期交付への体制の見直しを要求しました。

医療体制の構築が急務

県はこれまでさまざまな施策で経済を回すとしてきましたが、飲食店の皆さんの一層の感染防止協力と併せて、医療体制構築は、県経済の活性化の重要なポイントと考えます。皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり
政治へのご意見・ご事業などにおまかせ
事務所
麻生区百合丘1-6-4
米山ビル202
☎044・455・6611
FAX044・455・6614
石川ひろのり 検索